

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年11月11日

計画の名称	中心市街地の再生												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	茂原市												
計画の目標	土地区画整理事業により幹線道路の整備と併せて街区の再編を行い、もって中心市街地の移動利便性の確保、細街路の解消による安全性を確保し、安全で安心できる中心市街地の再生を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	319	A	314	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.56	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	国道128号と茂原駅を連絡する幹線道路の渋滞長を5%短縮する。 主要な交差点の渋滞長を調査し、渋滞長の減少割合を算出する。 (渋滞減少率) = (H27当初渋滞長 - 評価時点の渋滞長) / (H27当初渋滞長) (%)	760m	740m	720m
2	地元商店街の来街者数を5%増加させる 地元商店街の日当り来街者数を調査する。 (地元商店街の来街者数の増加率) = (評価時点の日当り来街者数 - H27当初の日当り来街者数) / (H27当初の日当り来街者数)	540人	550人	570人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	茂原市	直接	茂原市	-	-	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	都市再生土地区画整理 10.7 ha	茂原市						314		未策定
											小計						314		
											合計						314		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
市街地整備事業	C13-001	市街地	一般	茂原市	間接	茂原榎町商店街振興組合	-	-	地域活性化支援事業	集客イベント等の開催	茂原市						5		未策定		
		親子で参加できる「あそび体験」イベントを通し、魅力ある地元商店街を再認識してもらい賑わいを創出する。																			
													小計						5		
													合計						5		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

茂原市都市建設部都市整備課にて事後評価を実施。

事後評価の実施時期

令和2年度

公表の方法

茂原市ホームページにて公表。

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

当該土地区画整理事業地内道路の供用開始により近隣幹線道路の渋滞長の短縮、利便性の向上による来街者数の増加が図れたものと考えられる。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

当該土地区画整理事業の施行に伴う老朽化した建物等の解体、新築建物の増加、道路の新設等で景観上の改善が図れている。

特記事項（今後の方針等）

今後も社会資本整備総合交付金を活用し、当該事業の推進を図っていく。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	国道128号と茂原駅を連絡する幹線道路の渋滞長を5%短縮する。	
	最終目標値	720m
	最終実績値	720m
2	地元商店街の来街者数を5%増加させる。	
	最終目標値	570人
	最終実績値	570人